



幼児教育やケアサービスにおけるお子さんの オリエンテーションの支援

JAPANESE

幼児教育において明るいスタートを切ることが重要です。あなたとご家族が歓迎されており、安全で支援されていると感じることが重要です。サービスでの初日は、お子さんが他の子供たちと知り合いになり、教諭や教育者、他の幼児教育専門家と信頼関係を築き始める日です。

ビクトリア州の幼児教育やケアサービスは、ビクトリア州早期学習・発達フレームワーク (VEYLDF) に従っています。このフレームワークでは教育者に、子供たちの「アイデンティティと家族と文化史が子供たちの学習や発達を形作ります。子供たちは独自のアイデンティティを専門家から尊重され、認められた時に歓迎されていると感じ、最も良く学習します」(VEYLDF, 2016年、12ページ)と伝えています。この理解は、新しい幼児教育・ケアサービスでのオリエンテーションや慣らし期間中に、あなたとお子さんを支援するために教育者が取るアプローチの基盤となります。

幼児教育やケアサービスでは、教育者とご家族との間の共同パートナーシップを、品質の高いプログラムの基盤として見ています。初日からの互いを尊重する関係は、品質の高いサービスが提供される強力な兆候といえます。教育者から家庭言語を用いることを温かく歓迎され、推奨されることを期待できます。

サービスでは、最も使いやすい言語で適切に情報を受け取れるようにし、質問をしたり、詳細情報を問い合わせたりする機会を提供するために、電話通訳サービスを利用してコミュニケーションを支援することができます。さらに、お子さんがサービスで関係を築き、帰属感を抱くようになるまでの短期支援を提供するために、家庭言語を話す支援職員の利用が可能な場合があります。

品質の高い幼児教育では家族が「子供たちの学習と発達において主要な影響を与える存在である」と認識しています (VEYLDF, 2016年、9ページ)。教育者は早期教育プログラムへのご家族の意見や関与を大切にし、求めています。このことは、教育者の実践において情報を提供するだけでなく、お子さんが教育・ケア・家庭環境で人と信頼を築き、安心感を抱き、関係を築く手助けをします。これにより学習成果が強化されます。また、ご家族はサービスに関与し、初期のセッションに出席することを推奨されます。このことは、お子さんが安心感を抱き、サービスであなたがいない時にお子さんが何をしているのかを理解する上で手助けとなります。

通う幼児教育サービスでは、あなたとお子さんがサービスに慣れる手助けとなるオリエンテーション計画を用意しています。この計画には以下が含まれることがあります。

- 正式な登園が始まる前に、お子さんと一緒にサービスを訪れること
- あなたとお子さんが安心できるよう手助けをするために、短時間のセッションから始めて、長めのセッションに伸ばしていくこと。

幼児教育の教育者はあなたと一緒に時間を過ごし、あなたとお子さんについて何点か質問をします。このことは、お子さんのニーズについて理解を深め、お子さんの学習機会と良い成果を最大限にするプログラムを作成する上で手助けとなります。

幼児教育サービスから、情報共有するために質問されることがある情報の例として、以下があります。

- お子さんの健康に関する情報 — 予防接種の記録、医療ニーズ、病気やアレルギー。
- おむつ替えやトイレに関する希望、家庭でのやり方。
- お子さんが食べるもの、食事時間の習慣／日課。
- お子さんの休憩／睡眠に関するニーズ。
 - お子さんはベビーベッドや自分のベッドで寝ますか？ それとも添い寝をしていますか？
 - お子さんはどの歌で安心しますか？
 - お子さんにはお気に入りの本や特別なおもちゃ、ブランケットがありますか？
 - お子さんは通常、日中のどの時間帯に休憩／睡眠を取りますか？
- ご家族にとって、どのお祝い事と伝統が重要ですか？
- 教育者は、あなたが共有したいと考える他のどのような情報でも歓迎します。
- 教育者がお子さんと関わり合う上で手助けとなる、知っておいて欲しいお子さんに関する情報もあるでしょう。

お子さんが幼児教育サービスに慣れる中で、支援してあげられるその他の方法

- サービスでお子さんと一緒に時間を過ごすこと — お子さんにサービスでの日課を説明したり、母国語で遊んだり、本を読んだり、歌を歌ったりしてあげること。
- お子さんが他の子供たちとコミュニケーションをとる支援をしてあげること。これには、ただお子さんに他の子供たちの隣に座るように促したり、他の子供たちに向けて自己紹介をしたり、活動やゲームに参加したりすることが挙げられるでしょう。
- お子さんと一緒に同じ言語を話す人と話をしながら時間を過ごすこと。
- お子さんと体験していることやどのように感じているかについて話をし、お子さんを安心させ、背中を押してあげること。
- お子さんが教育者はどの人か、その名前、何か手助けが必要な時に頼れることを知っているようにすること。お子さんに教育者の名前を呼ぶ練習を一緒にする機会と手助けを求めるロールプレイを行う機会を与えてあげること。
- 離れる前に必ずさよならを言い、後で戻ってくるとお子さんを安心させてあげること。離れる前にお子さんが教育者や他の子供たちと活動を行う手助けをしてあげることで、お子さんを落ち着かせるのは良いアイデアでしょう。
- 登園日の前夜か当日の朝に、サービスの日課と環境についてお子さんと話し合い、お子さんが質問をし、お子さんが持つ心配ごとに対応してあげる機会を提供してあげること。
- 教諭と教育者は、サービスにいる間にあなたとお子さんの両方を支援するために存在していることを覚えておくこと。

参考文献

教育・訓練省、2016年。ビクトリア州早期学習・発達フレームワーク。